

## 6月学校集会 環境学習講話

今週の水曜日は、環境学習トライ&アクションがあります。

今日は皆さんに「環境」というものについて理解を深めてもらおうと、お話を用意してきました。

一口に「環境」と言っても、「環境」には大きく分けて3種類あると言われています。

1つ目は、「環境保全」とか、「地球環境を守れ」などに使う「環境」という言葉です。これは何環境と呼ばれるものかということ、「自然環境」ですね。よい自然環境というのは、私たち人間を含む生き物が、健康を害されることなく生きていける自然が豊かにある状態のことをいいます。

この「自然環境」に対して、こんなふうに「環境」を使う場合があります。「駅まで歩いて5分ですか。近くにコンビニや郵便局、区役所もあるなんて、いい『環境』にお住まいですね」

これは自然が豊かにある、というのとは、少し違う「環境」ですね。こうした「環境」のことを、何環境と呼ぶのでしょうか。

例えば、建物が段差の少ない造りになっていたり、車いすが通りやすいスロープになっていたりすること、また、病気やけがになったときの補助が充実しているようなことも、「〇〇環境」がよいと言っています。

そう、豊かな自然に対し、豊かな社会、ということで、「社会環境」と呼ばれるものです。

さてもう一つ、3つ目の「環境」です。これは、かなり懐かしい歌ですが、SMAPの「セロリ」という歌の冒頭、出だしに聞かれます。

『育ってきた『環境』が違うから、好き嫌いは否めない。夏がだめだったり、セロリが好きだったりするのね…』

セロリが好きになってしまう「環境」ってどんな「環境」でしょう。TV番組でも、芸能人が出身県によって、食べ物や言葉、習慣の違いを紹介していますね。これって何の違いと言ったらよいのでしょうか。

そう「文化環境」ですね。「文化環境」の違いは、食べ物だけでなく、言葉や遊び、ものの考え方、芸術、スポーツ、宗教・信仰など、様々な違いを生み出しています。これは、地域だけでなく各家庭においても違っています。

いま皆さんは、「環境」には、「自然環境」「社会環境」「文化環境」の3つがあることが分かりました。

私たちは、これからの生活において、よりよい「自然環境」をつくり、よりよく「社会環境」を整備し、一人一人の「文化環境」の違いを理解して、共に生きていかななくてはなりません。



さて、環境学習トライ&アクションです。

鳴子台中学校として皆さんは、地域の清掃活動に取り組みます。これは、主にどの環境をよくする活動でしょうか。…

そうですね。「自然環境」「社会環境」をよくする活動です。まずは、校訓の「誠実」を発揮できるように、しっかりと取り組みたいものですね。

しかし、よい「環境」をつくる取り組みは、継続して行うことが大切です。皆さんは、これからどんなことに「トライ」して「アクション」してくれますか。

身の回りを見渡せば、いろいろなところでさまざまな方々が、よい環境づくりのために活動をしてくださっています。皆さんも無理なくできる範囲で協力できたなら、素晴らしいことだと思います。